

向陵広場

発行号 第06号

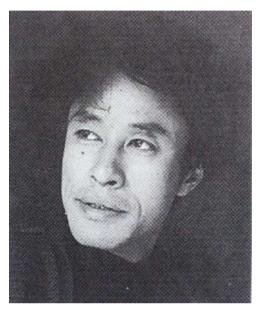
発行日 平成 28 年 11 月 24 日(木)

発行元 向陵編集校友会

☆責任者 伊藤有司(県商 10 回卒) ※

中村正義氏(市高15回)の绘画

年譜(出典:フリー百科事典『ウィキペディア』 (Wikipedia)



⟨1924**~**1977⟩

1924年 豊橋市に生まれる。生家は大橋通に現在もある「織九」です。

1937年 豊橋市立商業学校に入学。

1940年 身体が弱く四年で中退。

1646年 中村岳陵に師事、日展に初入選

1950 年 第6回日展の「谿泉」(豊橋市美術博物館所蔵)を出品、特選となる。1952 年にも「女人」で特選受賞する その後肺結核治療のため 1957 年まで制作を中断

1960年 第3回新日展の審査員となる。

1961年 神奈川県川崎市細山に転居。日展を脱退する。

1963 年 個展「男と女」(上野松坂屋・名古屋丸栄)を開催。 従来の画風から一変した前衛的かつポップな作品 30 点を発表する。

1964年 映画「怪談」(小林正樹監督)のため「源平海戦絵巻 5部作(東京国立近代美術館蔵)を制作。

1966年 個展「顔の自伝」(日本画廊)開催。

1967年 直腸癌の手術を受ける。

1969年 個展「太陽と月のシリーズ」(銀座三越)

1970 年 写楽研究の成果「写楽」(ノーベル書房)を出版。東京造形大学の日本画講師となる。

1974年 人人会を結成。第1回人人展(日本橋三越)開催。

1975 年 東京展実行委員会事務局長として展覧会開催に 奔走。第一回東京展(東京美術館)を実現させ (おそれ)を出品。

1977年 4月16日肺癌のため死去。享年52。



花図

校医 斉藤定三先生・寄贈 平成4年(1992) 校医としての功績により文部大臣賞を受賞 されたのを記念して寄贈された。



菊花 創立 60 周年・寄贈 昭和 41 年(1966 年) 会員名簿・写真集の表紙になった原画。